

◆◆◆◆◆ ふるさと文化の館情報 ◆◆◆◆◆

○図書館

昭和22年「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と出版社や書店、そして公共図書館、新聞・放送などマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、第2回からは現在の“文化の日を是年で2週間”となりました。

それから60年が過ぎ「読書週間」は私たちの生活の中に定着し、世界でも有数の「読書を楽しむ国民」となりました。一方、物質生活の豊かさに比

べ精神生活の低迷が問題視されている今、論理的思考の基礎となる読書の重要性はますます高まってきています。「読書週間」をきっかけに、読書への関心を高めていただき、読書が生活の一部となるよう願っています。

図書館では「読書週間」にあわせ、この秋におすすめの本を集めたコーナーを開設しますので、ぜひお立ち寄りください。



◇新着本

大人向け

書名	著者名	出版社
スウェーデンの高い税金と豊かな生活	星野 泉	イマジン出版
「心の時代」と教育	小沢牧子	青土社
オール電化の教科書	都築博志	起業家大学出版
小林多喜二	手塚英孝	新日本出版社
子どもを幸せにする55の常識	鈴木淑子	日本標準
食卓から地球環境がみえる	湯本貴和	昭和堂
若者が求める年金改革	上村尚史	中央法規出版
60代からの住み替えを考える本	長岡美代	実務教育出版
地域づくり新戦略	片木 淳	一芸社
中小企業のための経営革新を実現する7つのステップ	布施鉄男	日刊工業新聞社

子ども向け

書名	著者名	出版社
はじめて知る みんなの未来の仕事		学研
しろくまのアンヨくん	角野栄子	クレヨンハウス
夢を跳ぶ	佐藤真海	岩波書店
ぼくらの奇跡の七日間	宗田 理	ポプラ社
チリンのすず	やなせたかし	フレーベル館
14歳からのお金の話	池上 彰	マガジンハウス
流れ行く者	上橋菜穂子	偕成社
日本のからくりアイデア工作	矢野 真	くもん出版
ラブ、スター・ガール	ジェル・スピネリ	理論社
和紙の絵本	とがしろう	農山漁村文化協会

○美術館

◇小野町美術展

前 期：10月18日(土)～26日(日)

出品作品：書道・てん刻・きり絵・七宝焼き・陶芸

町民の皆さんの作品を展示する美術展です。
ぜひご鑑賞ください。

後 期：11月8日(土)～16日(日)

出品作品：絵画・押し花・タペストリー・写真・彫刻

なお、後期の部の出品申し込みは10月30日(木)まで受け付けています。

◇つるし雛講座



開催日：11月15日、29日、12月13日(いずれも土曜日)

費用：2,000円(全3回分の材料費です)

対象：成人

定員：10名

講師：村上康子先生(郡山市)

申込締切：10月31日(金)

*全3回の受講で1連のつるし雛が完成します。

「つるし雛」は願いを込めたお細工物をつなげて作る「桃の節句」飾りです。何連ものつるし雛が飾られる様子は見事なものです。

来年の「桃の節句」に向けて一針一針お細工物を作り、「つるし雛」を一連完成させてみませんか。

詳しくはお問い合わせください。

◆問い合わせ ふるさと文化の館 ☎72-2120